

# BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、パソコンの電源投入直後にキーボードの「F2」キーを押してください。

OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



## ■ Step 1

工場出荷の BIOS 設定により近い状態へ戻すには、「Load Setup Defaults」を実行します。「Load Setup Defaults」の項目に移動し、「Enter」キーを押下すると、メッセージが表示されます。「Yes」を選択して「Enter」キーを押下しますと出荷時により近い状態に設定します。

次に、次ページ以降の通り、文字を**反転**している箇所を変更します。変更方法は、矢印キーあるいは Tab キーなどでカーソルを移動し、「Enter」キーで選択あるいは確定させます。

### POINT

BIOS 設定画面の操作方法の概略が、設定中の画面右にも表示されています。それらもご参照願います。

## ■ Step 2

選択メニューや変更する項目へ、矢印キーでカーソルを移動し、「Enter」キーを押します。また、項目には変更できない箇所もあります。

### POINT

▶ 印の部分は、「Enter」キーを押すことにより、より詳細な項目が表示されます。変更の必要が無い項目については、詳細項目あるいは詳細内容の掲載を省略しています。また一部の設定項目やその詳細項目内容が表示されない場合や、項目が追加される場合があります。これは接続（実装）部品の自動判断機能による仕様制限であり、異常ではありません。

## ■ Step 3

最後に設定を保存します。「Exit Saving Changes」の項目に移動し、「Enter」キーを押下すると、メッセージが表示されます。「Yes」を選択して「Enter」キーを押下しますと設定を保存します。

特別な指示による変更以外で、出荷時状態から変更され、それによる不具合が生じても、責任を負いかねます。ご了承ください。

---

**Main**

System BIOS Version	X.XX	
System Date	[MM/DD/YYYY]	
System Time	[HH:MM:SS]	時刻と日付を入力します。
Processor Type	Intel XXXXXX CPU	
Total Memory	XXXX MB	
Memory Frequency	XXXX MHz	
ME FW Version	XXXX	
ME Firmware SKU	XXXX	

---

**ご注意**

---

カスタム仕様により、Processor Type や、Total Memory、Memory Frequency の文字や数値が異なります。

---

## Advanced

### Boot Configuration

#### Boot Configuration

Boot Up Numlock Status	[0n]	
CPU_FAN PWM Duty Cycle	<b>255</b>	
CASE1_FAN PWM Duty Cycle	<b>255</b>	※ 1: ファン回転数設定
CASE2_FAN PWM Duty Cycle	<b>255</b>	

### ▶ Processor Configuration

#### Processor Configuration

Active Processor Cores	[All]	
Intel(R) HT Technology	[Enabled]	
Enhanced Intel Speed Step	<b>[Disabled]</b>	※ 2: CPU 動作設定
Turbo Mode	<b>[Enabled]</b>	

※ 1: CPU 冷却ファンや筐体ファンの回転比率を変更できます。(製品内の全てのファンを制御できるものではありません。)**「255」**が最大で回転し、**「0」**が最少です。数値変更による放熱不足 / 排熱不足が原因で機器が故障する場合がございます。放熱 / 排熱のためにも最大値の**「255」**に設定することを推奨します。

※ 2: まず、Enhanced Intel Speed Step 項を [Enabled] に設定します。続いて、Turbo Mode 項を [Enabled] に設定します。もう一度、Enhanced Intel Speed Step 項に戻って [Disabled] に設定します。Turbo Mode 項が表示されなくなりますが [Enabled] (有効) を維持します。



### ご注意

搭載する CPU の機能の有無によって表示項目が増減しますが、これは異常ではありません。例えば、Turbo Mode 項が表示されないのであれば、その機能が無い CPU を搭載しているためです。

Advanced &lt;前ページから続く&gt;

## ▶ System Agent (SA) Configuration

## System Agent (SA) Configuration

Internal Graphics Device	[Enabled]	※ 3: グラフィック設定 1
Pre-Allocated Graphics Memory	[64M]	
LVDS/eDP	[Disabled]	
IGD - Boot Type	[Auto]	
Primary Display	[IGFX]	※ 4: グラフィック設定 2

## ▶ PCH Configuration

## ▶ SATA Information

- ※ 3: 拡張スロットへグラフィックボードを増設していれば、[Disabled] に設定します。増設グラフィックボードが無ければ [Enabled] に設定します。  
グラフィックボードを増設したら、VGA port または DVI-D port にモニターを接続し、この設定を行ってください。設定後、増設したグラフィックポートの出力ポートにモニターを接続してください。  
増設グラフィックボードを外す場合には、増設グラフィックポートの出力ポートにモニターを接続した状態で、この設定を行ってください。設定後、電源を切断し、グラフィックボードを取り外し、VGA port または DVI-D port にモニターを接続してください。



## ご注意

LVDS/eDPx4 項を [Disabled] に設定します。R11 シリーズ、R21 シリーズ共にこの機能を内部に有していますが、お使いいただけません。

- ※ 4: 製品が持つグラフィック出力機能を優先させる場合には [IGFX] に、拡張スロットのグラフィックボードを増設していて増設グラフィックボードを優先させる場合には [PEG] に設定します。  
但し、優先するディスプレイはグラフィックドライバーの設定によります。

Advanced &lt;前ページから続く&gt;

## ▶PCIe Slots Configuration

## PCIe Slots Configuration

PCIe1 PCIex16 Max Link Speed	[Auto]	※ 5: 拡張スロットの 整合性設定
PCIe2 PCIex4 Max Link Speed	[Auto]	
PCIe3 PCIex4 Max Link Speed	[Auto]	
PCIe4 PCIex1 Max Link Speed	[Auto]	
ACPI Native PCIe Support	[Enabled]	

## ▶Network Configuration ※ 6: LAN 機能設定

## ▶Power Configuration

## Power Configuration

Instant Power Off	[Enabled]	
AC-On Mode	[Disabled]	※ 7: 電源投入方法の設定
Restore AC Power Loss	[Power On]	
Power Up On WAKE#/PWE#	[Enabled]	※ 9: Wake on LAN 設定
Power Up On Time	[Off]	

## ▶LPC Configuration ※ 10: Serial port 設定

- ※ 5: PCI Express スロットに接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる項目です。通常は、拡張ボードに合わせて PCI Express スロットの [Auto] 機能により整合性を保ちます。[Auto] 設定にも関わらず、拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張ボードに合わせた最大転送レートを設定してください。[Auto] [Gen2] [Gen1] の設定が用意されています。
- |        |                                |
|--------|--------------------------------|
| [Auto] | 8.0GT/s を上限に、以下の転送レートを自動設定します。 |
| [Gen2] | 5.0GT/s を上限に設定します。             |
| [Gen1] | 2.5GT/s を上限に設定します。             |



## ご注意

## R11 シリーズ

- R11 シリーズの [Auto] 設定は、PCI Express x16 スロット (PCIex16) のみ上限が 8.0GT/s です。その他のスロットは [Auto] に設定していても 5.0GT/s が上限です。
- R11 シリーズは [ PCIe2 PCIex4 Max Link Speed ] を表示しません。

- ※ 6: LAN 機能の有効 / 無効を設定できます。  
不要であれば [Disabled] へ変更できます。

※ 7: 電源投入方法の設定

- [Disabled] 前面の電源スイッチで電源投入します。  
[Enabled] 背面の電源スイッチ、あるいは  
背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカーなどで  
電源投入することができます。そのためには、[Enabled] に設定  
することで表示される直下の項目を、次のように設定します。

Restore AC Power Loss

- [Power Off] 前面の電源スイッチで電源投入します。 ※ 8  
[Power On] 背面の電源スイッチ、あるいは  
背面の電源スイッチがオンの状態で AC ブレーカーなどで  
電源投入することができます。  
[Last State] Power Off と Power On のどちらの状態機能も有しており、  
電源切断した状態に応じて、次の電源投入方法が決ま  
ります。

- ※ 8: 前項を [Disabled] に設定したときと同じ動作です。背面の電源スイッチを  
オフからオンへ、あるいは AC ブレーカーなどをオフからオンへ移行したとき、  
電源のオン状態が一瞬現れますが、すぐにオフします。これは異常ではあり  
ません。気になる場合は、前項を [Disabled] に設定してお使いください。



ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、正  
しいシャットダウンを行ってください。以降、変更した電源投入方法が機能します。

- ※ 9: 出荷時の Wake On LAN 機能は有効に設定しています。Windows インストー  
ルモデルであれば、ネットワークアダプタの Wake On LAN 機能に該当する項  
目を設定することですぐにお使いいただけます。
- ※ 10: シリアル (COM) ポートの有効 / 無効を設定できます。  
最大 4 つの物理的なシリアル (COM) ポートの有無に関わらず有効 [Enabled]  
ですが、不要であれば [Disabled] へ変更できます。

## Boot

### BOOT ORDER Priorities

Boot Option #1	[CD/DVD]	起動ドライブの優先順位を設定します。
Boot Option #2	[Hard Disk : Windows Boot Manager (P1:XXX)]	
Boot Option #3	[USB CD/DVD]	
Boot Option #4	[USB Key]	

▶UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities

▶UEFI CDROM/DVD Drive BBS Priorities

※ 11: グループ別優先設定

※ 11: 起動ドライブの優先順位を設定するにあたり、例えばハードディスクドライブを複数台接続している場合には、どのハードディスクドライブを優先させるかこの項目の中で設定します。

UEFI CDROM/DVD Drive BBS Priorities 項も同様です。

## Save & Exit

Exit Saving Changes	_____	※ 12
Save Changes		
Exit Discarding Changes		
Load Setup Defaults	_____	※ 13
Discard Changes		

※ 12: 設定保存

[BIOS-1] ページ Step 3 を参照ください。

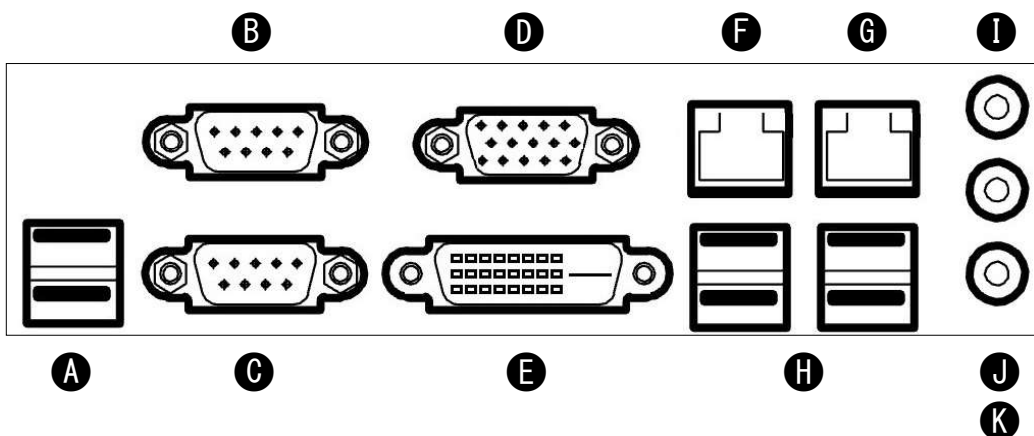
※ 13: 出荷時近似設定

[BIOS-1] ページ Step 1 を参照ください。

ユーザーズマニュアル補足

# R11、R21 シリーズ

## 1. 製品背面側のコネクタ



- A: USB 2.0 port (Type A)    USB 2.0 を上限に、USB 機器を接続できます。
- B: Serial port (COM1)       シリアル (COM) の機器を接続できます。
- C: Serial port (COM2)       シリアル (COM) の機器を接続できます。
- D: VGA port                    Analog RGB モニターを接続できます。
- E: DVI-D port (Single Link)   DVI デジタルモニターを接続できます。
- F, G: LAN port                  1 Gbps の Gigabit Ethernet ポートです。
- H: USB 3.1 port (Type A)    USB 3.1 を上限に、USB 機器を接続できます。
- I: HD Audio Jack                Line In
- J: HD Audio Jack                Line Out
- K: HD Audio Jack                Mic In



### ご注意

ここでは「USB 3.1」と表現しています。  
 USB 規格により名称が複数あり、右は  
 いずれも同じ意味です。

USB 3.2 Gen1 SuperSpeed  
 USB 3.1 Gen1 SuperSpeed  
 USB 3.0 SuperSpeed

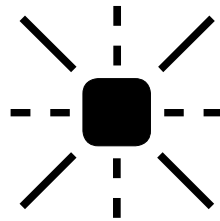
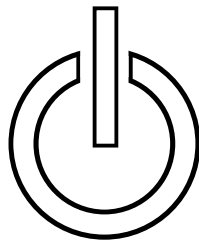


## 2. 製品の電源投入

---

本製品背面のメイン電源スイッチを ON（入）したときに、わずかな時間（5～10 秒ほど）電源が ON（入）したようにふるまうことがあります。前面の電源スイッチに触れることなく電源が ON（入）し、わずかな時間経過後に電源が OFF（切）します。この間、電源表示ランプも点灯します。

これは、正しく電源を ON（入）するための準備であり、異常ではありません。



### ご注意

---

[BIOS-5] ページ ※ 7 などの設定次第で、この動作は変わります。  
また、直前の電源切断（OFF）方法によっても変わります。

---



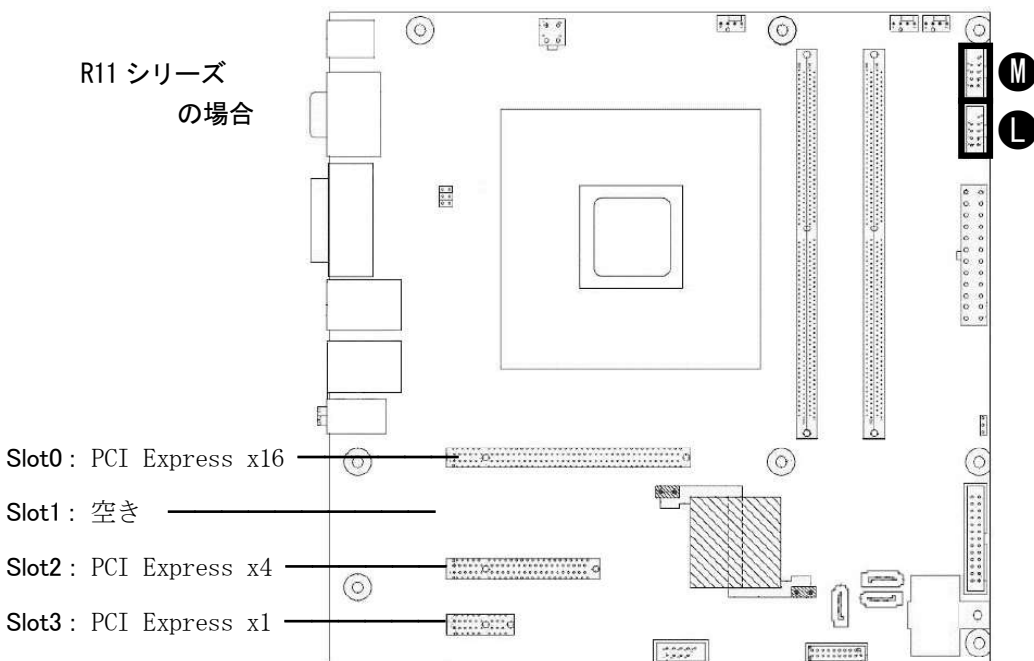
### ご注意

---

電源を ON（入）しても、通電直後の起動音は鳴りません。

---

### 3. 内部のシリアル (COM) ポートコネクタ と 拡張スロット



L : Serial port (COM3)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

M : Serial port (COM4)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

カスタム仕様によっては占有済みです。



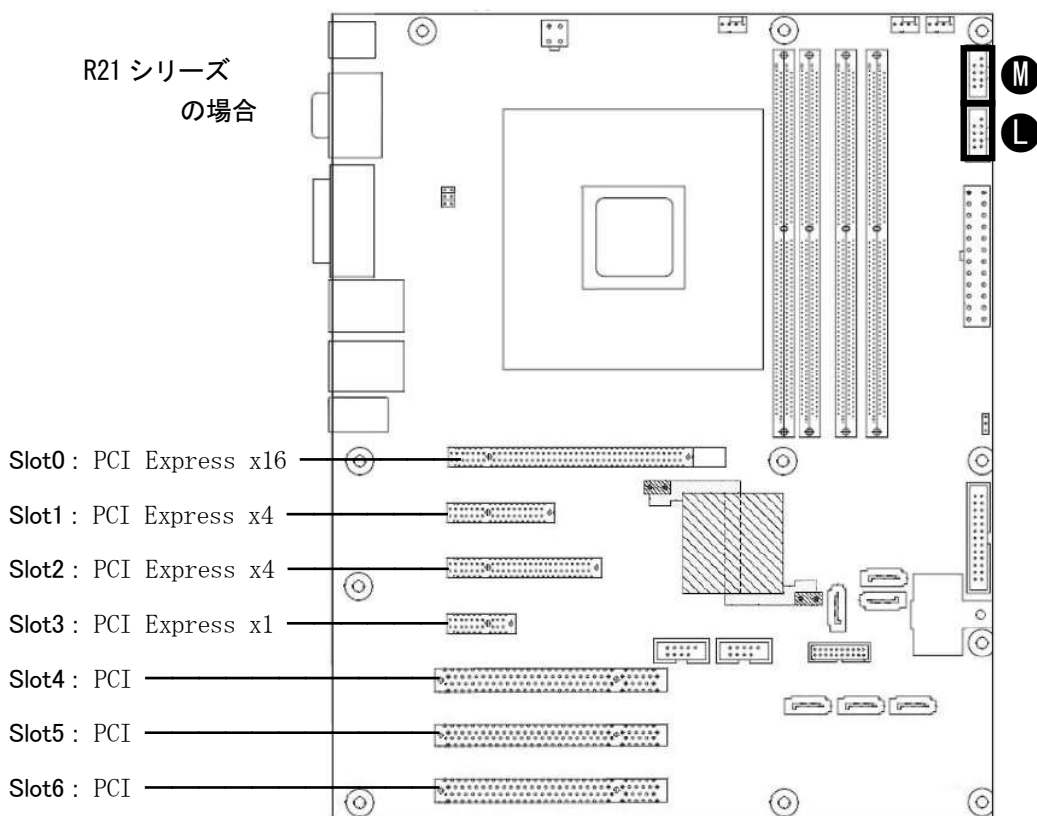
#### ご注意

L コネクタと M コネクタは、同じ形状、同じ機能です。このコネクタ以外にも良く似た形状のコネクタが有ります。



#### ご注意

Slot2 : PCI Express x4 のソケット形状は PCI Express x8 です。



L : Serial port (COM3)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

M : Serial port (COM4)

シリアル (COM) ポート (RS-232C) ケーブルを接続できます。

カスタム仕様によっては占有済みです。



### ご注意

L コネクタと M コネクタは、同じ形状、同じ機能です。このコネクタ以外にも良く似た形状のコネクタが有ります。



### ご注意

Slot2 : PCI Express x4 のソケット形状は PCI Express x8 です。

# 安全にお使いいただくために

- 1) 通常の使用状態におけるリチウム電池の交換は不要です。  
交換を希望する場合は弊社サポート窓口にご相談願います。
- 2) USB インターフェースの外付け DVD ドライブをお使いになる場合に、そのドライブから起動できないことがあれば、電源の入 (ON) と切 (OFF) を行ってください。UEFI 起動のみをサポートしています。UEFI 起動できないディスクからの起動はできません。
- 3) 電源スイッチを 4 秒以上押し続けて電源を強制的に OFF (切) にした後、電源投入方法を BIOS 設定していても正しく機能しない場合があります。これは強制的に電源を OFF (切) にしたためであり、異常ではありません。  
強制電源 OFF (切) 後は必ず、正しいシャットダウンを行ってください。以降、BIOS 設定した電源投入方法が機能します。[BIOS-5] ページも参照ください。
- 4) 製品が待つグラフィック出力機能と、増設グラフィックボードを同時に使う (同時使用 / 出力は) が可能です。同時使用する場合は、十分に検証ください。以下にその方法を記述します。全ての**動作を保証するものではありません**。
  - 4-1) Internal Graphics Device 項を [Enabled] に設定し、保存します。  
[BIOS-4] ページ、[BIOS-1] ページ Step 3 を参照ください。
  - 4-2) 電源を OFF (切) にします。AC コードも抜きます。
  - 4-3) グラフィックボードを増設します。
  - 4-4) AC コードを接続し、電源を ON (入) にします。
  - 4-5) グラフィックボードのドライバーをインストールします。
- 5) メモリーモジュールを増設する場合、同じ仕様のメモリーモジュールをお使いいただきますよう推奨いたします。同じ規格、同じ容量のメモリーモジュールを二枚一組でお使いになることで「Dual Channel モード」が機能します。容量以外の、規格の異なるメモリーモジュールが混在しますと、正常動作しない場合があります。正常に動作する場合であっても、最も下位仕様のメモリーモジュールに合わせて動作します。このような場合には「Single Channel モード」で機能します。